

地域情報

玉川地域

東玉川町会のリサイクル活動と国際交流

東玉川町会 副会長 清水勝代

東玉川町会は世田谷区の南東の端にあり環八に面した2200世帯加入の町会です。東急線の4駅が最寄り駅ですが全て徒歩20分程かかる所に位置しており高齢化率は24%の戸建住宅の

多い町です。玉川全円耕地整理事業17工区中トップを切つて昭和9年には宅地造成が完成し、碁盤の目のように整然とした街並みは先人の労苦の賜物であると感じています。奥沢地区管内

区として、新聞、雑誌、アルミ缶などを回収しております。平成12年に集団回収は中止になりましたが、中古衣料回収は平成14年から年2回2つの町会が一緒になって、今も実施しております。26回で計381

トン、平均15トンの実績を続けています。ボランティア100名が出て地区を挙げての回収風景となっています。東玉川町会は平成21年10月より新聞、雑誌、段ボールの町会による資源回収を開始しました。平成26年度は280トンの古紙を回収しております。143ヶ所の回収拠点を設け現在では持ち去りの車両

もなく町会員の協力のもと実施しています。こうした長年に渡るリサイクル活動が評価され、東京23区清掃一部事務組合からの依頼を受け、住民主体のごみ減量活動をテーマとしたマレーシア住民との交流事業に参加しました。世田



「35年後誰か見に行つて！」

には2つの町会があり、4つの婦人会があります。戦後生活学校として活発に活動し今も継続しております。今年65周年を迎えます。昭和56年頃よりリサイクル活動に積極的に参加し区内で最初に資源回収に取り組んだモデル地

あり、4つの婦人会があります。戦後生活学校として活発に活動し今も継続しております。今年65周年を迎えます。昭和56年頃よりリサイクル活動に積極的に参加し区内で最初に資源回収に取り組んだモデル地

谷区を含む4区が協力し、首都クアラルンプールより派遣された自治会の東京訪問を受け、施設見学、分別排出方法、資源回収、リサイクルの体験研修と、市民の目を通じた交流を行いました。来訪された皆さんを歓迎してオカリナでマレーシア民謡を演奏したり廃油から石鹸を作ったり、破損や所有者不明の傘をほどこして作る買い物袋の作り方を教えたり、着物を着てお抹茶とお菓子でおもてなしをしたり大変友好的に過ご

しました。2ヶ月後には東玉川町会の3名がクアラルンプールを訪問し、東京での研修後の計画の進め方を見学させていただき、お互いにコメントを発表したりしました。私たちの町もリサイクル活動がここに至るまでには長い年月を要していること、町会員の協力を得ることは、情報は開示し利益は還元するなど進言しました。マレーシアも昨年の秋からごみ袋のまま埋め立てている処理方法を変更し分別排出に取り組むと新聞



「研修後全員笑顔で！」

砧 地域

報道にありました。ワング
サメラワティ自治会の土手
に植樹したゴムの木が35
年後には大樹に成長すると
聞きその頃東京も含めて
地球環境はどのようになっ
ているか大いに期待したい
です。町会も設立して82
年目になります。東玉川子
育て広場は55年目になり
7500組の母子が巣立つ
ています。平成21年3月
に新築落成した町会会館
は大勢の町会員と篤志家の
寄付、前述の資源回収益金
と区の助成金によって建て
られ日々町会活動の中心と
なっています。よい環境が
次の世代に引き継がれてい
くことを願っています。

歴史ある町会の発展を期待して

船橋葎根会 会長 花形 利夫

船橋葎根町名の由来
15代將軍徳川慶喜が大政
を奉還し、明治親政の世と

なり廃藩置県が行われ、一
時期廻沢船橋両村は品川
県、八幡山村は彦根県と

なり廃藩置県が行われ、一
時期廻沢船橋両村は品川
組合 事業完成記念誌より
引用)

一、名を留めておりま
す。
時代の流れと共に、
わが町葎根会周辺を含
めて、環境も大きく変
化して来ました。
いつ起きてもおかし
くない大震災、とりわ
け情報化と共に私たち
の周辺でも、犯罪など
の不安な世情に囲まれ
る時代でもあります。
また、少子高齢化の
時代が加速し、身近な問題
が山積しています。

「さくらまつり」



なったが、その後間
もなく三村共に神奈
川県となり、明治22
年市町村制施行によ
り、烏山・給田・上
祖師谷・下祖師谷・
粕谷の各村と共に統
合した千歳村となり
北多摩郡に属してい
たが、明治26年4月
東京府となり、昭和
11年砧村と共に世田
谷区に編入され、現
在に至っています。

船橋葎根会は以前は船橋
全体1丁目〜7丁目、一
つの町会でありましたが、
終戦の昭和20年8月15日
後に分離独立し、戦後の混
乱期は、防犯・防火を主目
的に組織され現在の町会に
発展しました。この地が明
治の頃、東京府北多摩郡千
歳村船橋字葎根耕地と称さ
れていたことから、葎根と
云う字名が町会名として残
されています。今日、船橋
6丁目の「葎根公園」に唯

そのような世情の中で
こそ、「こんにちは！」と
気楽にいえるまち、生まれ
育ったまち、いつまでも住
んでいたいまち、を基本と
して居心地のよい「わがま

ち」を創っていききたいと思
います。
ご近所の底力・向こう
三軒両隣が協力して「自分
たちのまちは自分たちで守
る」をスローガンにして、
船橋葎根会の結束強化、安
心・安全・防災・減災のま



「さくらまつり」

烏山地域

上北沢町会 今の様子

安全で住みやすい街に

上北沢町会 会長 新井 貞次

ちづくり活動等への活用を図って行きたいと思えます。また、災害時の救難活動、物資輸送の要となる

道路整備が求められています。「恵泉裏通り」の一日も早い全面開通を願っています。歴代町会長の尽力により

今日があることを感謝し、船橋葎根会の皆様と協力して明るい住みよい町にして行きたいと願っています。

- 歴代町会長
- 初代 篠崎 竹治郎
 - 第二代 花形 市五郎
 - 第三代 吉崎 義正
 - 第四代 黒田 寅之助
 - 第五代 花形 和夫
 - 第六代 吉崎 義記
 - 第七代 花形 利夫

私たちの町会は2丁目・3丁目・4丁目・5丁目とかなり広く、その中で2丁目は東京都立松沢病院です。この敷地内には、次の施設があります。

一 医学総合研究所：

細菌、アルツハイマー等、多くの研究

二 医療観察病棟：心神喪失等の状態で重大な他害行為（殺人等）を行った者の入院医療

三 東京都立中部総合精神福祉センター：薬物・アルコール依存症、精神障がい者の自立、社会参加の自立支援

安全で住みやすい地域を

目指して

役員と地域の皆様そして、商店街の皆様といたくつかの活動を進めています。今現在取り組んでいる行事等を紹介させていただきます。

高年齢者見守りネットワーク 町会、自治会、商店会、高齢者クラブ、民生児童委員、日赤、社会福祉協議会、まちづくりセンターなど14団体で協定を結び、さらに賛助会員、協力会員もいます。地域での困りごと等は、あんしんすこやかセンター、まちづくりセンターが窓口になり、進めております。

災害時要援護者支援 世田谷区と協定を結び、世田谷区から要望された皆さん方の、見守り活動を行う。

上北沢周辺の整備事業 1 東京都水道局施設 甲州街道の上北沢4丁目、元市場の跡地に送水施設が平成32年度完成に向けて工事が行われています。完成時には、災害時に使用できる給水施設ができることになって

上北沢路上禁煙推進協議会 毎月第3水曜日上北沢駅周辺において啓発、掃除活動を共栄会、中央商店会、桜並木会議の皆様とで行っております

盆踊り大会 8月の第2土曜、日曜 日来場者2200人、会場は、上北沢小学校校庭にて2日間の開催。

町会行事として

桜祭り 4月の第1土曜、日曜

2 京王線開かずの踏切

解消に向けての事業

上北沢駅周辺推進協議会は第3木曜日に会議を開いております。現在は、笹塚駅から仙川間を高架で工事を進めていると思われれます。

メートルの所を6メートルになるよう世田谷区、

東京都への要望書を準備

しています。歩行者の安

全確保に努めようとして

いますが、京王、東京都

からの情報がなかなか入

らず、駅舎、改札口、駅

前広場、高架下、がわか

りません。

10年以上先の完成と思

われれます。

今の交番は、道路になる予定です。

会の中では、駅前交番

がどうなるか、わからない

い多くの方々は、駅前に

あるといいなという意見

でした

以上案内させていただきました。

ました。

世田谷区上北沢地区

明るさと安心が結ばれる街づくり

上北沢町会

町会メンバーとして
明るいコミュニティを目指しましょう！



安心・安全で住みよい街づくりのために
地域の活動に参加し、みんなで行動しましょう。
地域のみんなが協力し交流を深めることで
安心して生活のできる上北沢にしましょう！

世田谷地域

上馬西町会について

上馬西町会 会長 下山 芳 男

上馬西町会は昭和32年9月11日に設立されました。

上馬2丁目、3丁目そして

4丁目の地域で活動してい

ます。世帯数は約1280

世帯です。国道246号線

と都道環状7号線の交差す

る上馬交差点に接した三つ

の地域に分かれています。

東急田園都市線の駒沢大学

駅からも近く、渋谷経由で

都心まで短時間で行くこと

ができ、二子玉川方面にも

10分足らずで行くことがで

きる大変交通の便がよいと

ころです。

しかしながら、町会の

センターがあるものの、学

校、公園、児童館等の公共

的な施設や広場が無く、活

動を行う拠点となる場所が

ほとんどありません。

地域の様子も変わり、

お住まいになっていらっしゃる方々

も転入や転出が多くなっているように感じます。今後

の町会としての活動をどのように進めていくべきか、日々役員や町会員の皆様と話し合っています。

回、古紙などの資源回収を行ってまいります。理事の皆様も高齢になり、重い紙類を運ぶことは大変ですが、この活動により、町会員の様子を知ることでもでき、町会員の協力もいただき継続しています。昨年の11月には、初めての古着・古布の回収を行いました。

町会が行っている主な活動は、毎月1日に行っている防犯パトロール、春秋の交通安全運動期間中に行うテントを設営しての啓発活動、そして消火訓練、駒

沢小学校、三軒茶屋小学校での避難所運営訓練への協力などです。また、年間6

活動、そして消火訓練、駒

町会として最も重要な課題は、大きな地震が発生した時の対応です。世田谷区



「上馬西町会資源回収の様子」

も真剣に取り組んでい
ることは承知していま
すが、避難所の開設、
運営そして援護が必
要な高齢者世帯への対
応、そして在宅で避難
している方々への情報
の提供や物資のお届け
など、町会に期待され
ていることは多岐にわ
たります。果たして、
家族の安否確認や大き
な被害が発生した状況
で、町会としてどのよ
うな対応ができるか、
とても心配です。

域からの火災の発生を最小
限にするための地震ブレ
イカーの設置補助、部屋の家
具の転倒による圧死やけが
をできるだけ少なくするた
めの家具の固定を徹底する
方策を検討しています。地
震が起こる前にどれだけ備
えることができるかが重要
であると考えています。

昨年11月より、上馬複
合施設の建築が始まりまし
た。まちづくりセンター、
地区会館、あんしんすこや
かセンターが一カ所に集ま
ります。正に地域の中心と
なり、この地域の活動の拠
点となります。私たちは
この施設を有効に活用させ
ていただき、特に健康づく
りと高齢者の皆様と子ども
たちが集うことができると
思っています。

上馬西町会としてどんな
活動をしているのかを伝え
ることも大切です。日頃、
関係機関から寄せられる
回覧は非常に多く、その対
応に苦慮されている町会
も多いと思います。回覧
が多く、自分の町会の情報
が埋没して、何も伝わって
いないとのご意見もあり、
私は町会長としては浅学
非才、経験も浅い未熟者で
すが、役員、町会員の皆様
のご理解、ご協力をいただ
き少しでもお役に立てるよ
う努力する所存です。皆様
のご指導を心よりお願い申
し上げます。

北沢地域

町会活動の曲り角

北沢4丁目町会 会長 藤原成義

私の町会は世田谷区の北
東の端に位置し、木造住宅
が多く、新たな防災規制に
よる「燃えにくい、災害に

強い」まちづくりが進んで
います。区内でも、一人暮
らしの高齢者が多く、14歳
以下の年少人口の最も少な

い町です。
町会・自治会は地域行政
の末端組織のように活動し
て参りました。全国の会員

や役員の大きな力が我が国
の発展を支えてきたと申し
上げて過言ではないと思
います。

しかし、近年の社会の
変化は著しいものがありま
す。
私の町会では、活動や

行事について見直しの必要
を感じています。活動の中
で、防犯、防災と合わせて
高齢者の見守りのウエイト
が高まってきました。少子
高齢化は避けられません。
会を支える役員も等しく高
齢化し、増加する行事をこ

なし、活動を続けて参りましたが、負担が増す一方です。

計らずも去る11月4日のクローズアップ現代で全国の町会・自治会の活動の様子が放映されました。

多くの町会・自治会の抱える悩みは、ほぼ共通しています。「高齢化による役員不足」、「増加する行事に手が廻らない」「町会活動に無関心」が挙げられ、町会活動を見直そうとする時期にきていると結ばれていました。一部に町会・自治会が複数集まってNPO法人化している事例も紹介されました。

私の町会の最近の見直し、検討中の行事を一部ご紹介しましょう。

① 敬老の日の祝行事。高齢者をお招きして手づくりのお料理でおもてなし、お祝の品の贈呈。もてなし内容は検討中、祝品は中止、増加する高齢者への経済的負担が大き

い。

② 小学校新入生へのお祝い図書券の贈呈新設。

③ 年1回のバスツアーの個人負担の増額。いつも満員。

④ 男の料理教室新設。一人暮らしの男子高齢者対象、仲間づくりとボケ防止、男子役員の発掘が狙い。他町会からの参加者もあり人気。

⑤ 仕事を持った方が町会活動できるシステムを検討中。

⑥ 町会加入の積極運動。足を運ぶ以外の妙案なし。

⑦ 災害時要援護者協定の見直し。見守る側と見守られる人の状況接近。

⑧ 解散した老人会の再建目途たらず。町会役員と老人会年齢の差なし。

⑨ ラジオ体操、防災訓練、交通安全運動の他町会共催。

⑩ ミニデー、サロンには若干の会費負担求む。

⑪ 歳末警戒、夜回りの参加者多数。役員人材、後継者の発掘の好機等。

これからの町会活動が容易に好転することは期待出来ないが、行政をはじめ、多くの組織が懸命に活動に取り組む、新しい発想や工夫を重ねていることは衆目の一致するところ。最近、見聞した興味ある事例をご紹介します。

① 札幌市の北野まきは町会では、女子高生の役員が誕生し、行事運営や広報紙を担当し、若者ならではのアイデアを提案して町内会も明るくなつた。

② 烏山駅前通り商店街では、ポイントカードを活用した見守りを行っている。希望する高齢者にカードを配布し、買い物をしなくても見せるだけで見守りポイントがたま

る。カードの利用が一定期間ない場合は緊急連絡先に連絡したり、担当者が訪問して安否確認をする。

③ 群馬県高崎市は、市内約500人の徘徊高齢者の所在を把握するため、家族や介護事業者に全地球測定システム(GPS)機器の無料貸し出しを始めた。

最後に、私はこの10年余りの町会長を通じて、多くの友人、知人ができました。中でも隣り町会のNさんはまもなく白寿を迎え、一人で町内の回覧板を配っています。

この仕事に元気をもらい、おかげで晩酌がおいしく笑顔です。私はこの笑顔に元気をいただいております。

町総連ニュース

総会

▼平成27年6月25日

第38回せたがや

ふるさと区民まつり

▼平成27年8月1・2日

町会・自治会加入促進

ポスターを出店テント内に掲示し、加入チラシと町総連だより及びグッズを配布し広報活動を行いました。

常任理事会

▼平成27年11月5日

1 町総連だより各町

会・自治会での回覧部

数作成について

2 歳末たすけあい・地

域支えあい募金につ

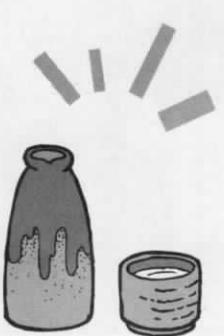
て

3 第13回地域福祉推進

大会の開催について

4 地域の絆 サミット

の開催について



表彰

▼平成27年6月18日

東京都町会連合会表彰

京王プラザホテルにおいて中村忠明理事(三軒茶屋町会前会長)、池上義正常任理事(弦巻町会会長)、宍戸鉄男理事(松原三・四丁目自治会会長)が受賞されました。

▼平成27年10月1日

東京都功労者表彰

都庁において山野井崇二副会長(下馬新生自治会会長)が受賞されました。

▼平成27年11月27日

全国自治会連合会表彰

石川県立音楽堂において齋藤重男会長(玉堤町会会長)が受賞されました。

▼平成27年11月20日

厚生労働大臣表彰

日比谷公会堂において齋藤重男会長(玉堤町会会長)が受賞されました。

◎世田谷区町会総連合会正副会長改選のお知らせ
平成27年6月25日に開催されました総会で改選が承認されました。

役職	新会長・新副会長	前会長・前副会長
会長	齋藤重男	齋藤重男
副会長	山野井崇二	根岸茂
"	後藤正三	後藤正三
"	宮崎春代	藤本秀雄
"	水野貞	杉田武信

◎情報誌編集委員会

▼平成27年10月8日

町総連だより第42号の編集方針について

▼平成27年11月30日

町総連だより原稿の確認と読み合わせについて

▼平成27年12月18日

町総連だより原稿の校正について

◎町総連情報誌編集委員会名簿 平成27年12月現在

役職名	氏名	所属町会・自治会名
委員長	横山昭夫	九品仏自治会
副委員長	堀江義之	若林町会
"	吉岡靖之	藤自治会
委員	飯塚捷子	豪徳寺二丁目町会
"	遠藤幸一	大原北町会
"	根岸久芳	駒沢三丁目町会
"	大塚栄江	成城団地自治会
"	本橋俊夫	粕谷会
"	高橋和夫	烏山下町会

編集後記

年2回発行されるこの「せたがや町総連だより」は、世田谷区の5つの地域の町会・自治会の活動状況を知る最も身近な情報誌です。

発行前に開催される編集委員会では、編集委員の皆さんから自分が身を置く地区の事は日常の活動を通して理解できるが、他の地域の事は中々判らない、と言う声が多く聞かれます。

編集委員は、地域を代表して来られています。また、それぞれの町会・自治会が会長を中心に日々、自治会活動に苦心して居る事も聞かれます。

大震災が30年以内に70%の確率で発生すると言われています。各町会・自治会では防災訓練を実施したり、個人的にも防災に備えておられるでしょう。このような時、地域の絆が益々大切となって来ます。絆づくりの一助となるようこの「せたがや町総連だより」が一人でも多く方に読んでいただけるよう編集委員の一人としてこれからも努力したいと思えます。

編集委員 吉岡 靖之

長らく編集委員を務めていただきました鮎川郁男委員が11月4日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますと共に冥福をお祈りいたします。